

第66回文化財防火デーに伴う

防災訓練



令和2年1月26日（日）、博物館網走監獄で「文化財防火デー」に係る防災訓練を実施しました。本訓練は国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図ること及び文化財の火災予防対策を推進するため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、文化財を火災、震災、その他の災害から守ることを目的としています。

昨年度と同様に本年度においても、消防署及び消防団が参加し、自衛消防隊（網走監獄）との合同防災訓練としては3回目の訓練となり、想定は重要文化財「教誨堂」からの出火を想定し、自衛消防隊（網走監獄）による消防機関への通報、初期消火、避難誘導、屋外消火栓による放水訓練を実施した後、通報を受けた消防機関（消防署・消防団）が到着し、消防活動に係る一連の訓練を実施しました。

出火想定建物（教誨堂）



消火器による初期消火



屋外消火栓からの放水準備



消防団によるホース延長



自衛消防隊（網走監獄）と
消防団による同時放水



訓練後、「振り返り」の様子

